

直方の歴史と文化

直方市指定文化財 八幡神社の洪鐘

文 榊 正 澄

第 22 回

文化財の名称と種別

八幡神社の洪鐘

直方市有形文化財

美術工芸品（戦国時代）

昭和63年（1988）指定

「洪鐘」とは半鐘のような小さな鐘ではなく大きな鐘、いわゆる釣鐘、梵鐘のことです。

文化財の所在地

上頓野の八幡神社の拝殿正面の右内側の手前に安置されています。

八幡神社とは

八幡神は第15代天皇の応神天皇と同一とされ、祭神は各地の八幡神社により異なりますが、上頓野の八幡神社では応神天皇、仲哀天皇（第14



八幡神社の洪鐘（被災前）

代天皇、日本武尊の皇子で応神天皇の父君）、神功皇后（仲哀天皇の皇后、応神天皇の母君）の三柱を主祭神としています。

上頓野の八幡神社の由来

上頓野の八幡神社は、全国に約4万社ある八幡神社の総本宮である大分県の宇佐神宮から建武2年（1335）に分霊をお迎えして（勧請といいますが）、現在地に創建されました。建立したのは雲取城主であった当地の領主麻生氏でした。

八幡神社の洪鐘の由来

鐘には2種類の銘文が刻まれています。一つは最初に鐘が作られたときのもので、「永享2年（1430）に長州（現在の山口県）吉田郡松屋別府の東光寺に納める」とあります。もう一つは「永正6年（1509）に筑前州頓野郷八幡宮に納める」とあり、経緯は不明ですが室町時代に長州で作られ、当地に移ってきたこととなります。

江戸時代には早魃（かんばつ）を竜王峡の龍王神社の滝壺に漬けて雨乞い祈願が行われました。神社に

鐘が保存されているのは珍しく、明治初年の神仏分離政策により神社に同居していた多くの寺院が破却される中でも雨乞い神事に必要な鐘として残されたと推測されます。

八幡神社の火災と再建

平成24年（2012）3月15日に原因不明の火災により社殿が全焼し拝殿内の鐘も被災しました。拝殿の天井絵や回廊の絵馬などの貴重な文化財も焼失しました。社殿の再建工事は関係者の尽力により平成27年（2015）7月に完成し鐘も元の位置に安置されました。

上頓野宮ノ前遺跡

八幡神社の南側の水田には中世後期の集落遺跡があり、圃場整備事業に伴い平成3年（1991）から4年に発掘調査が実施されました。



八幡神社の社殿（再建後）

文化財に関する問い合わせ

文化・スポーツ推進課社会教育係
(TEL 25-23326)

編集後記

突然舞い降りたコウノトリのおかげで、12月は問い合わせに追われるという嬉しいハプニングが発生。今年は酉年ということもあり、幸せを運んでくれるのではないかと密かに期待しています。縁起のいい一年になりますように。(Y)

人の動き

■人口	57,400人（-436）	■世帯数	26,817世帯（+30）
	〔うち外国人400人〕		
男	26,982人（-201）	全て平成28年11月末現在	
女	30,418人（-235）	()は前年同月との比較	

- ◆発行…直方市 〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号
URL <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>
- ◆発行日…毎月1日、15日（月2回）
- ◆編集…企画経営課ふるさと情報係
TEL (0949)25-2236 / FAX (0949) 24-3812
E-MAIL n-koho@city.nogata.fukuoka.jp
- ◆印刷・制作…久野印刷株式会社

携帯電話向け情報提供サービス



情報メール
「つながるのおがた」
緊急情報、イベント情報など



直方市携帯電話ホームページ

休日当番医、市役所電話帳など

UD FONT